

7 古典(1)

確認問題

5分

1 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

三重

或人、清水へまゐりけるに、老いたる尼の行きつれたりけるが、道すがら「あるひと *きよみづくくさめくさめ」と言ひもて行きければ、「ア尼御前、何事をかくはのたまふぞ」と問ひア

「ウけれども、答へもせず、なほ言ひやまざりけるを、度々問はれて、うち腹たちて、ウ

「イやや、鼻ひたる時、かくまじなはねば死ぬるなりと申せば、養ひ君の、イ比叡山イ

に見にておはしますが、イただ今もや鼻ひ給はんと思へば、かく申すぞかし」と言イ

ひけり。イ有り難き志なりけんかし。イ

(徒然草)より

注 *清水 清水寺のこと。

*くさめくさめ くしゃみやみが出たときのまじないの文句。

*比叡山 延暦寺のこと。

*児 勉学や行儀見習いのために寺に預けられている少年。

2 (1) 線部「まゐりける」を現代仮名遣いに直して、すべて平仮名で書きなさい。

2 (2) 線ア「言ひもて」、線イ「問ひけれども」、線ウ「答へもせず」、線エ「言ひけり」のうち、主語が他と異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

2 (3) この古文の内容に合っているものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 老いたる尼は、比叡山にいる児がくしゃみをするとうちが死んでしまうのではないかと思ひ、清水への道すがら道連れになつた或人におまじないを言つてもらつた。

イ 或人は、清水への道すがら道連れになつた老いたる尼の話聞いて、自分が育てた方で、比叡山にいる児を心配して「くさめくさめ」とおまじないを言つた。

ウ 清水への道すがら「くさめくさめ」と言い続ける或人に対して、老いたる尼は腹を立てて、「くさめくさめ」とおまじないを言い続ける理由を問ひ詰めた。

エ くしゃみをしているときにおまじないをしないと死んでしまうと信じる尼は、乳母として育てた児が今にもくしゃみをするかと思ひ、おまじないを言つていた。



